

令和 7 年度墨田区卒後対策連絡会の報告について

1 令和 7 年度卒業生進路先の状況

裏面のとおり

2 卒後対策連絡会について

令和 7 年 5 月 30 日（金）開催（主に卒業生の情報共有と学校側の実習の調整の場）

参加者：区（障害者福祉課相談係、ふれあいセンター、就労支援センター）

都立墨田特別支援学校、都立墨東特別支援学校、生活介護事業所、就労継続支援 B 型事業所

（1）意見交換内容

- ・ 学校側からの要望で毎年夏から秋に実習を行っているがその際に、受け入れ可能と判断しても生徒側には、伝えないでほしいと要望があった。先に実習をした生徒が有利になってしまうため。
- ・ はばたき福祉園より利用者が増えており今後希望者全員を受け入れることが難しいとの話があった。ひだまりも同様である。
- ・ 生活介護については区内の事業所だけでなく、近隣区の事業所にも実習に行ってもらえるように学校にお願いをした。
- ・ 就労継続 B 型事業所で高齢化が進んでおり今後生活介護に移行する可能性がある。ただ、長期利用している利用者が多く、環境の変化には敏感なのでできるだけ支援はしていきたいと考えている。
- ・ 就労継続支援 B 型の希望者は、事前に就労選択支援事業を実施しなければならないので厚労省の方針等を共有した。

3 現状と今後の課題

- ・ 区内、区外事業所の協力もあり高校 3 年生は全員第二希望までの進路先に進めている。
- ・ 今年度、生活介護事業所の調整が難しかったので、今後も希望者が多くなると調整が難航すると予想される。区内の生活介護事業所と連携し、調整できるように対応していく。
- ・ 就労選択支援事業が開始されているので区、学校、就労支援センターと調整中である。
- ・ 進路先が決定した後（例年 1 月中旬）に障害福祉サービスの利用について各家庭に説明を行うが、その時に障害福祉サービスの利用方法を初めて知る家庭も多い。手続等に時間を要するので、事前に学校側と連携して障害福祉サービスの周知をより一層図る必要がある。（保護者向けに説明会、相談会を行っているが参加者は一部に限られてしまう。）

事業所等利用状況および卒後の進路一覧

事業名	事業所名	定員	卒後進路先	在籍者数
			R8年3月卒業予定	R8年3月現在
生活介護	はばたき福祉園	48名	3名	54名
	ステップハウスおおぞら ひだまり	30名	1名	28名
	ワクワク工房デイサービス	20名		12名
	肢体不自由児者通所訓練所	20名		21名
	すみだ晴山苑 クルン	13名	3名	13名
就労継続支援B型	向島七福福祉作業所	20名	1名	17名
	隅田作業所	20名	1名	33名
その他	就労移行支援		3名	
	自立訓練		1名	
	他区通所施設等		1名	
	施設、GH(予定含む)		2名	
	企業就労(予定も含む)		6名	

●その他内訳

就労移行支援は、区内事業所と葛飾区の事業所

自立訓練は、千代田区の事業所

他区通所施設等は足立区的生活介護施設

企業就労については、清掃、物流会社、病院等